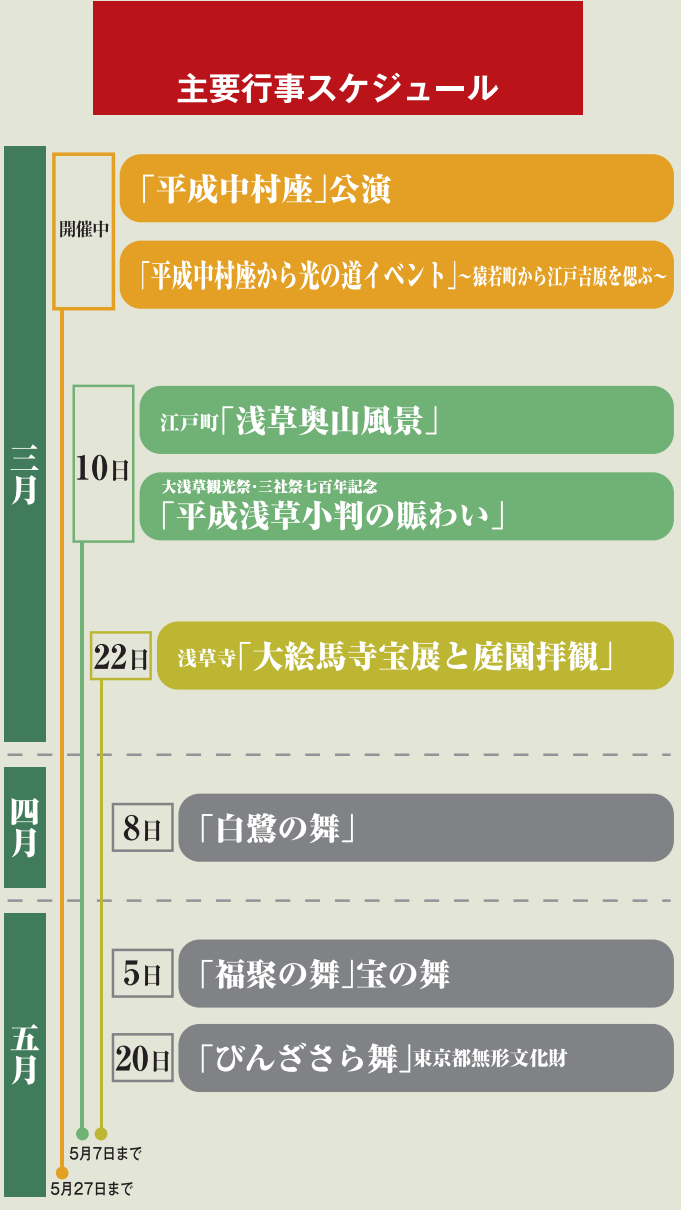




水上バス-TOKYO CRUISE	
隅田川ライン	
浅草 約35分 → 浜離宮 約5分 → 日の出桟橋 約40分 → 浅草	
浅草・お台場直通ライン	
浅草 約50分 → お台場	浅草 約75分 → 豊洲
お問い合わせ先 0120-977311	

観光路線バス		
観光路線バス「東京→夢の下町」は都内の観光名所を結ぶ便利な路線バスです。運行ルートは上野松坂屋前～錦糸町駅前、上野松坂屋前～両国駅前、東京駅丸の内北口～両国駅前(土休日のみ)の3ルートあり、1時間に2～3本程度運行しております。		
停留所	浅草一丁目(バス停は裏面周辺マップ参照)	
東京駅丸の内北口(土休日のみ)	浅草雷門(バス停は裏面周辺マップ参照)	
日本橋三越(土休日のみ)	リバーピア吾妻橋前	
神田駅前(土休日のみ)	業平橋	
須田町(土休日のみ)	押上	
上野松坂屋前	錦糸町駅前	浅草周辺バス停は裏面マップをご参照下さい
上野公園山下	都営両国駅前	
菊屋橋	両国駅前	

スカイツリー®シャトル		
「スカイツリー®シャトル」は上野・浅草・東京スカイツリー®を結ぶ観光回遊型のシャトルバスです。20分間隔にて土日祝日のみ運行しております。所要時間約40～45分。		
停留所	TX浅草駅	
東京スカイツリー®	浅草ビューホテル	浅草周辺バス停は裏面マップをご参照下さい
浅草雷門	浅草三丁目	
上野公園	浅草寺北	

江戸町「浅草奥山風景」
◆期間／3月10日(土)～5月7日(月)
◆場所／浅草寺本堂西側一帯

浅草寺西側一帯は通称奥山と親しまれ、江戸時代から大道芸や見せ物小屋が並び盛相場浅草発祥の地でありました。その場所に江戸時代さながらの町並みを再現し江戸小物、版画、玩具、提灯、指物、手拭い等の見世が六十店余並び緋毛氈の茶屋が現れます。杢山提灯の並ぶ大木戸をくぐると江戸の大道芸人や瓦版売りの居るにぎやかな江戸町にタイムスリップ、浅草寺境内で江戸風情をお楽しみ下さい。



大浅草観光祭・三社祭七百年記念 「平成浅草小判の賑わい」
◆期間／3月10日(土)～5月7日(月)
◆場所／奥山風景会場・仲見世・西参道・奥山おまいりまち・花やしき通り・平成中村座

大浅草観光祭・三社祭七百年をお祝いし記念小判を発行いたします。仲見世と奥山風景に両替所があって一枚五百円で小判を両替し、期間中奥山風景や仲見世で買い物が出る平成小判です(一両五百円)江戸町奥山風景で買い物や茶屋も良し、江戸風情をお楽しみ下さい。

●両替処：雷門両替処・江戸町奥山風景両替処【営業時間／10:00～17:00】



「平成中村座」公演
◆期間／平成23年11月～平成24年5月27日(日)
◆場所／隅田公園内 仮設劇場

猿若勘三郎(中村勘三郎)が江戸に櫓をあげたのが中村座の始まりです。浅草との縁は深く今の浅草6丁目に中村座をはじめとする江戸三座が隆盛を極め、その先祖ゆかりの浅草で2000年「平成中村座」が産声をあげました。その後日本各地、さらには海外へ進出し、そして今回は、開業目の東京スカイツリーのお膝元、隅田河畔でのロングラン公演が実現致しました。3月には中村勘九郎襲名興行も開催されるなど、春を迎えますますます盛り上がっています。



第一部には待望の「法界坊」を上演。第一回平成中村座公演(2000年)での衝撃の登場から、大阪、NYと上演を重ね進化を続ける平成中村座の代表作です。まさに隅田川を舞台に繰り上げられる物語は、桜に彩られる隅田河畔の平成中村座で見れば楽しさも倍増すること間違いありません。残忍な悪党の一面がありながらも憎めない坊主、法界坊が繰り広げる愛と嫉妬、お金と家宝をめぐるドラマを存分にお楽しみください。第二部は『小笠原騒動』を通し狂言としてご覧いただきます。1999年に南座で復活上演を果たし、東京、名古屋、福岡と全国で喝采を浴び、いよいよ平成中村座にやってきます。実際に起こった御家騒動をもとに明治十四年に書き下ろされたこの作品は、善悪入り乱れてのスピード感あるストーリー、スベクタクルな演出が魅力の熱いお芝居です。平成中村座の密な空間で体感する熱気あふれる大騒動にご期待ください！

●平成中村座五月大歌舞伎(昼の部)
● 本朝廿四孝 十種香
● 四変化 弥生の花浅草祭
● 神明恵和合取組 め組の喧嘩
●平成中村座五月大歌舞伎(夜の部)
● 歌舞伎十八番の内 毛拔
● 志賀山三番叟 上演口上
● 江戸随一 志賀山三番叟
● 梅雨小袖昔八丈 髪結新三

昼の部には、戦国の世の武田信玄と上杉謙信の争いを軸にした『本朝廿四孝』より八重垣姫の一途な恋を描く『十種香』、五月浅草の風物詩、三社祭の斎行七百年を記念し、祭の山車人形が踊りだす躍動感あふれる舞踊『四変化弥生の花浅草祭』、粋でいなせな鳶と豪快な力士との華々しい喧嘩を活写した江戸世話物の傑作『め組の喧嘩』を上演いたします。夜の部には、豪快な衆寺彈正が御家乗っ取りの企みを暴く一場面をおおらかに描いた、歌舞伎十八番の内『毛拔』、江戸中村座とゆかりの深い舞踏で、今日「舌出し三番叟」として親しまれる『志賀山三番叟』、髪結いの新三が見せる小悪党ぶりが小気味よい、江戸の初夏を感じさせる河竹黙阿弥の名作『髪結新三』をご覧いただきます。※演目、その他の詳細については松竹ホームページをご覧ください。



「平成中村座から光の道イベント」 ～猿若町から江戸吉原を偲ぶ～
◆期間／平成23年11月～平成24年5月31日(木)
◆場所／奥浅草

「観音裏」と呼ばれる浅草寺から北の一帯にはかつて猿若芝居町があり吉原があり、様々な職人文化や伎芸文化が集結した奥浅草一帯があります。平成中村座から提灯や桜並木のイルミネーションで飾る「光の道」を実施、さらに商店街をめぐる大浅草スタンプラリーを開催しております。どうぞこの機会に諸芸繚乱の町「奥浅草」をお楽しみ下さい。

お問い合わせ：奥浅草観光まちづくり協会／03-3871-3591 台東区浅草4-41-8

浅草寺「大絵馬寺宝展と庭園拝観」
《金龍山 浅草寺 東日本大震災復興支援》 国指定名勝 伝法院庭園(平成23年9月21日指定)
◆期間／3月22日(木)～5月7日(月)
◆場所／浅草特別展示館・庭園(入口奥山風景内)

浅草寺秘蔵の寺宝や絵馬など、普段は非公開の貴重な寺宝と小堀遠州作庭と云われている「伝法院庭園」を特別公開致します。

【拝観時間／10:00～16:00】入場料:300円
本展の収益は東日本大震災の義援金とさせていただきます。

「白鷺の舞」
◆4月8日(日) ◆場所／浅草寺境内
昭和43年の「東京百年祭」を記念して創始奉納されたのが「白鷺の舞」です。『浅草寺縁起』の遷座式に登場する「白鷺の舞」を再興したものです。「白鷺」8名、「武者」3名、「棒ふり」1名、「大傘」1名、「楽人」数名、浅草寺幼稚園園児による「守護童子」などにより構成される美しい舞です。

「福聚の舞」宝の舞
◆5月5日(土) ◆端午の節句
昭和39年の宝蔵門落慶を記念して創始された舞が「福聚の舞」で、福聚とは「観音経」にある「福聚海無量」(観音さまが備えている海のごとき福德の聚)から名付けられたもので、5月5日「端午の節句」に奉演される「宝の舞」と2月3日「節分会」で奉演される「七福神の舞」とがあります。

「びんざさら舞」 東京都無形文化財
◆5月20日(日) ◆三社祭奉納
推古天皇36年(628年)3月18日浅草浦付近(宮戸川)で漁をしていた漁師櫓前浜成(ひのくまはまなり)・竹成(たけなり)の兄弟の網に一体の小さな観音像がかりました。その観音像を現在の駒形橋付近からあがられた観音像をとりあえず槐の木(たけなりの)の切り株の上に安置しました。そのおり草庵<藜堂>(あかざどう)を作った十人の千束田圃の百姓衆が草庵の完成を祝って踊ったのが「びんざさら」の始まりと言われております。